



農業景況DIは大幅下落 事業承継の候補者6割がすでに決定

— 農業景況調査 (2018年7月調査) —

日本公庫の農業資金をご利用いただいているお客さまを対象に、農業の景況調査および事業承継に関する調査を行いました。結果概要をご紹介します。

超高齢社会の日本は二〇二五年に、団塊の世代の全ての方が後期高齢者にあたる七五歳以上。高齢化が進む農業界では事業承継が喫緊の課題とも言えます。

販売単価の低下と生産資材や労賃などの生産コストの上昇を背景に、収支・資金繰りが悪化し、その結果、景況DIが大幅に下落したのと思われる。

業種別に景況DIを見ると、全ての経営部門が悪化している中であって酪農が高い値を維持しているのが特徴です。

酪農(都府県)は、前回調査の一・二・六から〇・五ポイント低下し一・二・二になりました。また、北海道は四四・八から六・八ポイント低下したものの、三・八・〇と高い値を保っています。酪農は、販売単価の好調が続いていることなどが影響して

いると思われる。

また、養豚は五九・四からマイナス四七・〇ポイントの二二・四に、ブロイラーは、五五・三からマイナス三六・九ポイントの一八・四と、低下しているものの業況DIはプラス値を維持しています。相場が一七年を下回っているものの、未だ高い価格帯にあることが要因と見られます。採卵鶏は三三・七から八一・八ポイント大幅に低下し▲四九・二となりました。生産量の増加により販売単価が下落していることが原因です。

耕種では、茶が大幅に悪化した。二六・五と好調だった前回調

景況DIの調査結果

販売単価の下落などが要因

二〇一八年上半期(一〜六月)の農業全体の景況感を示す景況DIは過去最高の値を示した一七年調査(二〇一八年一月時点)以降、前回調査(二一・二)から一七・九ポイント

図1 農業景況DI天気図

| 経営部門 | 2017年 | | 2018年 | | |
|---------|---------|---------|-------|---------|---------|
| | 実績 | | 上半期実績 | 通年見通し | |
| 農業全体 | 21.2 | ↓ | 3.3 | ↓ ▲12.3 | |
| 耕種 | 稲作(北海道) | 39.7 | ↓ | 0.2 | ↓ ▲50.4 |
| | 稲作(都府県) | 10.3 | ↓ | 2.7 | ↓ ▲11.6 |
| | 畑作 | 34.8 | ↓ | 6.7 | ↓ ▲28.5 |
| | 露地野菜 | 7.5 | ↓ | 4.6 | ↓ ▲6.5 |
| | 施設野菜 | 15.0 | ↓ | ▲1.5 | → 0.5 |
| | 茶 | 26.5 | ↓ | ▲21.1 | ↓ ▲30.7 |
| | 果樹 | 21.8 | ↓ | 12.8 | ↓ 9.9 |
| | 施設花き | ▲10.6 | ↓ | ▲25.2 | ↑ ▲19.6 |
| | キノコ | ▲2.5 | ↓ | ▲8.7 | ↑ 8.8 |
| | 畜産 | 酪農(北海道) | 44.8 | ↓ | 38.0 |
| 酪農(都府県) | | 12.6 | → | 12.1 | ↑ 15.3 |
| 肉用牛 | | 17.5 | ↓ | ▲2.5 | ↓ ▲20.1 |
| 養豚 | | 59.4 | ↓ | 12.4 | ↓ ▲5.3 |
| 採卵鶏 | | 32.7 | ↓ | ▲49.1 | ↓ ▲59.8 |
| ブロイラー | 55.3 | ↓ | 18.4 | ↓ ▲6.1 | |

[DI値とお天気マークの関係]

☔ ≤ -50 < ☔ ≤ -20 < ☔ ≤ -5 < ☔ < 5 ≤ ☔ < 21 ≤ ☔

(注)DI値に2.5以上の差異がある場合は上向きまたは下向き矢印。2.4以内の場合は平行矢印。

査から四七・六ポイントも低下し
▲二一・二になりました。これは天
候不順により出荷時期と需要期が
ずれ込んだことで相場が過去最低
の水準にまで下落したことが要因
です。

通年見通しも天候不順で悪化

農業全体の景況DIの二〇一八
年通年見通しは、前回調査の二一・
二より三三・五ポイント低下し、▲
一二・三となりました。

業種別に見ると、耕種では、稲作
(北海道、都府県)、畑作、露地野菜、
茶がマイナス値に転じる見通しで
す。畑作と露地野菜では、夏場の天
候不順により作柄が不安視される
ことが理由と考えられます。畑作
は三四・八から六三・三ポイント大
幅低下で▲二八・五、露地野菜も
七・五から一四・〇ポイント低下の
▲六・五でした。

稲作では、政策の大きな見直し
が行われたことにより、今後の先
行き不安が反映されました。北海
道が三九・七から九〇・二ポイント
の大幅低下で▲五〇・四。都府県は
一〇・三から二一・九ポイント低下
の▲一一・六となりました。

畜産では、酪農のみプラス値を
維持しています。

酪農(北海道)は前回調査の四

四・八から二六・四ポイント低下の
一八・四、都府県は一二・六から二・
七ポイント低下の一五・三と、プラ
ス値を維持しているとはいえ六月
の長雨による飼料作物の不作の影
響が懸念されることから慎重な見
通しとなりました。

採卵鶏は、販売単価が低下傾向
にある中で、さらに増産が進んで
いることから、三二・七からマイナ
ス九二・五の▲五九・八と悪化する
見通しとなりました。

また、養豚は海外からの輸入量
が増加していることから五九・四
から六四・七ポイント低下し▲五・
三となりました。

設備投資見込みDIは、前回調
査の▲六・八から二一・〇ポイント
上昇し一四・二となり過去最高値
を更新しました(図2)。

設備投資額の増減の見込みにつ
いて聞いたところ、「昨年に比べ増
加する」が一番多く四八・〇%、次
に「同程度」が三四・〇%と続き、「減
少する」は一八・〇%でした(図省
略)。「増加する」が約半数を占めて
いることから、設備投資に対する
意欲の高さがうかがえます。一方
で、アンケート回答者からは、「建
設資材の高騰などにより、同じ内
容の設備投資を行った場合でも投
資額は増加する」といった声も聞

図2 収支DI、資金繰りDI、販売単価DI、生産コストDIなどの推移

| | 収支DI | | 資金繰りDI | | 販売単価DI | | 生産コストDI | | 設備投資見込みDI | | 雇用状況DI | | |
|-------|---------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|---------|--------------|-----------|----------|--------|--------------|-------|
| | 2017年 | 2018年 上半期 | 2017年 | 2018年 上半期 | 2017年 | 2018年 上半期 | 2017年 | 2018年 上半期 | 2018年 | | 2017年 | 2018年 上半期 | |
| | | | | | | | | | 1月調査 | 7月調査(今回) | | | |
| 農業全体 | 14.7 | ▲2.7 | 15.5 | 2.4 | 24.3 | ▲7.9 | ▲25.2 | ▲37.3 | ▲6.8 | 14.2 | ▲36.8 | ▲37.4 | |
| 耕種 | 稲作(北海道) | 43.0 | ▲2.3 | 23.8 | ▲1.5 | 54.4 | 8.9 | ▲18.8 | ▲39.6 | ▲9.6 | 17.8 | ▲39.0 | ▲38.4 |
| | 稲作(都府県) | 2.2 | 0.5 | 7.3 | ▲0.7 | 36.0 | 6.5 | ▲11.2 | ▲18.2 | ▲0.4 | 24.2 | ▲27.8 | ▲30.8 |
| | 畑作 | 28.1 | ▲1.7 | 23.3 | 5.0 | ▲2.1 | ▲20.2 | ▲28.4 | ▲41.2 | 6.4 | 19.8 | ▲45.0 | ▲47.4 |
| | 露地野菜 | ▲0.9 | ▲3.2 | 2.7 | 3.4 | ▲7.8 | ▲13.9 | ▲40.0 | ▲42.6 | ▲10.8 | 13.0 | ▲43.4 | ▲41.4 |
| | 施設野菜 | 5.6 | ▲6.0 | 11.5 | ▲2.6 | 8.7 | ▲19.6 | ▲39.9 | ▲52.3 | ▲19.6 | 1.3 | ▲33.0 | ▲38.2 |
| | 茶 | 25.8 | ▲33.9 | 20.2 | ▲7.1 | 18.1 | ▲57.7 | ▲32.2 | ▲54.3 | ▲19.0 | ▲3.2 | ▲37.7 | ▲32.8 |
| | 果樹 | 12.0 | 13.9 | 8.6 | 8.0 | 28.0 | 6.9 | ▲37.3 | ▲43.5 | ▲33.0 | ▲2.8 | ▲36.8 | ▲43.5 |
| | 施設花き | ▲24.6 | ▲27.8 | ▲5.9 | ▲16.1 | ▲28.6 | ▲43.1 | ▲48.6 | ▲64.8 | ▲38.4 | ▲21.6 | ▲34.4 | ▲35.7 |
| キノコ | ▲3.8 | ▲15.3 | 7.5 | ▲13.1 | ▲11.3 | ▲30.5 | ▲28.8 | ▲52.2 | ▲13.6 | ▲7.3 | ▲41.2 | ▲40.6 | |
| 畜産 | 酪農(北海道) | 36.8 | 37.2 | 36.3 | 27.4 | 67.8 | 57.8 | ▲35.2 | ▲38.0 | ▲7.8 | 9.0 | ▲52.5 | ▲47.6 |
| | 酪農(都府県) | 1.7 | 7.5 | 16.4 | 15.3 | 14.4 | 9.4 | ▲32.9 | ▲34.6 | ▲1.2 | 19.3 | ▲27.6 | ▲31.4 |
| | 肉用牛 | 7.0 | ▲18.2 | 16.9 | 0.5 | 17.1 | ▲23.8 | ▲41.3 | ▲45.1 | ▲7.6 | 4.6 | ▲34.3 | ▲33.1 |
| | 養豚 | 57.9 | 8.9 | 55.6 | 14.3 | 63.6 | ▲10.9 | 12.1 | ▲32.4 | 16.0 | 40.4 | ▲44.3 | ▲33.9 |
| | 採卵鶏 | 31.9 | ▲51.9 | 31.1 | ▲20.5 | 1.7 | ▲66.3 | ▲12.0 | ▲64.2 | 22.4 | 17.9 | ▲47.4 | ▲37.5 |
| プロイラー | 55.3 | 16.2 | 50.0 | 21.6 | 37.5 | ▲9.7 | ▲16.1 | ▲35.4 | 3.6 | 38.4 | ▲36.4 | ▲35.9 | |

[DIについて]

天気図はDI(Diffusion Index)と呼ばれる指標により作成。

アンケートへの各項目への回答は、「①良くなった ②変わらない ③悪くなった」から一つ選ぶ形式となっており、前年と比較して「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたもの。

かれました。

雇用状況DIは一七年の▲三六・八からほぼ横ばいの▲三七・四となりました。依然として深刻な労働力不足が続いていることがうかがえる結果となりました。

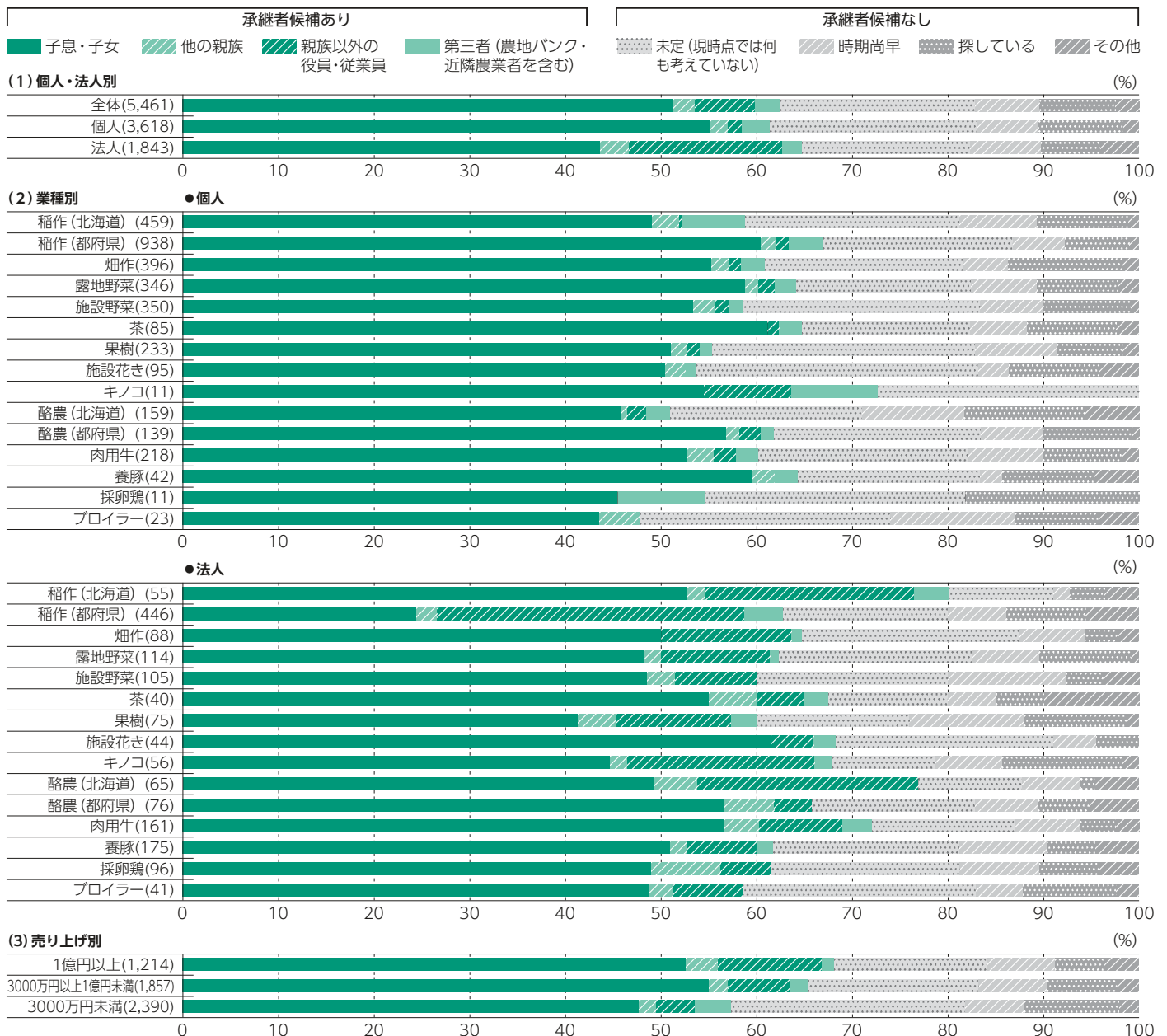
事業承継に関する調査結果

高売上ほど承継者が具体化

今後事業を継続・発展させていくために、将来事業を承継する人は誰かを聞いたところ、個人、法人を含めて承継者がすでに決まっている経営体が六割以上に上りました(図3)。農業の中核となる担い手農業者の後継者難が懸念されている中、明るい話題といえそうです。事業承継者は、「子息・息女」が五一・三%と半数を占めています。一方で、「未定(現時点では何も考えていない)」「(二〇・三%)や「探している」(七・九%)の回答も一定数存在しており、人手不足はまだ根強い課題と言えます。

個人・法人別では、「親族以外の役員・従業員」が個人が一・四%に対して、法人は一六・〇%となりました。法人経営では親族外承継の割合が高くなる傾向にあります。特に、稲作(都府県)の法人では「親族以外の役員・従業員」が三二・

図3 将来、事業を承継する人について



1%と「子息・息女」の二四・四%を上回りました。

売り上げ規模別に見ると、売り上げの高い経営体ほど承継者が具体化している割合が高くなっています。また「親族以外の役員・従業員」の割合が高くなるのが特徴です。

候補者がいる経営体は課題明確

事業承継をする際に課題となることについて聞いたところ、「経営ノウハウの継承」が五二・五%と一番多く、次いで「生産技術の継承」が四七・一%、「事業の将来性」が三八・三%となり、これらは他に比べ突出して高くなりました。(図4)。

業種別に見ると、個人では「生産技術の継承」の四七・三%が、法人では「経営ノウハウの継承」が六三・三%で最多となりました。「事業の将来性が不安」については、個人が四三・七%だった一方、法人は二七・八%にとどまっております。大きな差が開いています。

売り上げ規模別に見ると、売り上げが高い経営体ほど「事業の将来性が不安」の割合が下がり、「贈与税や相続税の発生」の割合が高くなるのが分かりました。また、「承継者がいない」とする割合も売り上げ規模が高い経営体ほど低くなっています。

将来事業を承継する候補者別に、課題を見てみると、「子息・息女」

「それ以外の親族」「親族以外の役員・従業員」を選び、承継する候補者が決まっている経営体ほど「経営ノウハウの継承」や「生産技術の継承」といった具体的な内容を課題としていることが分かりました。

承継する候補者について「未定(現時点では何も考えていない)」と回答している経営体は、「事業の将来性が不安」という回答の比率が高くなりました。

高齢化が進む農業界において事業承継は喫緊の課題ですが、特に小規模な個人経営体にとって、より深刻な課題と言えます。

今回ご紹介した内容を含む調査結果に関する公表資料は、当公庫ホームページに掲載しております。「日本公庫 農業景況調査」で検索してください。

(情報企画部 落合智仁)

調査概要

● 調査時点・方法

二〇一八年七月・郵送調査

● 調査対象

スローリー資金/農業改良資金

融資先(計二万二七七先)

● 有効回答数

五六四五先(回収率二七・八%)

注:本文中にある▲はマイナスを、図3、4の項目にある()内の数値は回答者数を示します。

図4 事業承継をする際の課題について(複数回答可)

| 業種別 | 経営ノウハウの継承 | 生産技術の継承 | 承継者育成の時間的余裕 | 相談する場所がわからない | 事業の将来性が不安 | 関係者(親族・従業員等)の理解が得られない | 承継者が買取資金を確保できない | 承継者との間に資産に対する評価に相違がある | 贈与税や相続税の発生 | 承継者がいない | その他 |
|-----------|-----------|---------|-------------|--------------|-----------|-----------------------|-----------------|-----------------------|------------|---------|-----|
| 全体(5,461) | 52.5 | 47.1 | 17.8 | 2.3 | 38.3 | 1.9 | 4.5 | 2.2 | 12.4 | 13.8 | 5.8 |
| 個人(3,618) | 47.0 | 47.3 | 16.4 | 2.5 | 43.7 | 2.0 | 4.3 | 2.1 | 12.4 | 16.2 | 5.3 |
| 法人(1,843) | 63.3 | 46.7 | 20.4 | 1.9 | 27.8 | 1.6 | 4.8 | 2.2 | 12.3 | 9.1 | 6.8 |
| 耕種(3,938) | 51.4 | 48.8 | 18.1 | 2.3 | 41.8 | 1.9 | 3.8 | 1.9 | 10.0 | 14.6 | 5.8 |
| 畜産(1,214) | 55.6 | 42.3 | 16.2 | 2.2 | 28.0 | 1.8 | 6.5 | 3.2 | 20.2 | 11.9 | 6.0 |

| 売り上げ規模 | 経営ノウハウの継承 | 生産技術の継承 | 承継者育成の時間的余裕 | 相談する場所がわからない | 事業の将来性が不安 | 関係者(親族・従業員等)の理解が得られない | 承継者が買取資金を確保できない | 承継者との間に資産に対する評価に相違がある | 贈与税や相続税の発生 | 承継者がいない | その他 |
|----------------------|-----------|---------|-------------|--------------|-----------|-----------------------|-----------------|-----------------------|------------|---------|-----|
| 1億円以上(1,214) | 59.1 | 42.3 | 16.1 | 2.4 | 23.0 | 1.6 | 5.4 | 2.1 | 19.2 | 6.9 | 5.8 |
| 3000万円以上1億円未満(1,857) | 55.0 | 48.5 | 18.7 | 2.6 | 37.9 | 1.8 | 3.8 | 1.8 | 11.7 | 12.2 | 5.1 |
| 3000万円未満(2,390) | 42.0 | 43.8 | 16.2 | 1.8 | 42.7 | 1.9 | 4.1 | 2.3 | 8.3 | 17.2 | 5.9 |

| 承継候補者の回答 | 経営ノウハウの継承 | 生産技術の継承 | 承継者育成の時間的余裕 | 相談する場所がわからない | 事業の将来性が不安 | 関係者(親族・従業員等)の理解が得られない | 承継者が買取資金を確保できない | 承継者との間に資産に対する評価に相違がある | 贈与税や相続税の発生 | 承継者がいない | その他 |
|--------------------------|-----------|---------|-------------|--------------|-----------|-----------------------|-----------------|-----------------------|------------|---------|------|
| 子息・息女(2,800) | 59.9 | 53.2 | 16.3 | 1.9 | 37.2 | 0.9 | 4.0 | 2.1 | 17.2 | 0.4 | 4.4 |
| 他の親族(121) | 56.2 | 49.6 | 24.8 | 0.0 | 29.8 | 4.1 | 8.3 | 1.7 | 10.7 | 2.5 | 5.8 |
| 親族以外の役員・従業員(346) | 65.0 | 45.4 | 23.7 | 1.7 | 25.4 | 1.2 | 6.4 | 2.9 | 3.5 | 4.6 | 7.8 |
| 第三者(農地バンク・近隣農業者を含む)(145) | 31.0 | 24.1 | 17.2 | 3.4 | 40.7 | 4.8 | 15.9 | 6.2 | 11.0 | 21.4 | 9.0 |
| 未定(現時点では何も考えていない)(1,108) | 32.6 | 34.7 | 15.5 | 2.7 | 41.7 | 2.4 | 2.4 | 1.0 | 6.2 | 26.1 | 5.3 |
| 時期尚早(決める時期ではない)(369) | 45.0 | 41.5 | 17.6 | 1.6 | 36.9 | 2.4 | 3.5 | 2.4 | 8.4 | 10.0 | 7.0 |
| 承継する候補者がいない(探している)(434) | 21.9 | 21.9 | 14.7 | 3.7 | 27.0 | 3.7 | 4.8 | 1.8 | 3.2 | 70.3 | 3.2 |
| その他(138) | 37.7 | 32.6 | 17.4 | 0.7 | 18.1 | 1.4 | 1.4 | 2.2 | 4.3 | 18.1 | 23.2 |

↑候補あり
↓候補なし